

候補者を当選へ 導くための選挙 コンサルティングのすべて

統一地方
選挙対応

わが国の政治・選挙キャンペーンに於ける戦略・戦術の向上、コンプライアンスの徹底、関係者の情報共有やキーマンネットワークの構築、世界の政治・選挙キャンペーン事業の調査・分析・研究を通じて、わが国の政治・選挙キャンペーン事情の向上を図るための「日本選挙キャンペーン協会」が、選挙前の一大チャンスとして、選挙実務者・参謀等の方々を対象としたセミナーを開催します（候補者は除きます）。

日時 2011年1月22日(土)～23日(日)**会場** 富士箱根ランド(静岡県田方郡函南町桑原笛場1354)**対象** 30人限定(事前申し込み)**参加費** 10万円(宿泊費・食費・セミナー代一切を含む)**内容** 選挙戦略立案の基礎知識、最新の選挙事情、世論調査の分析の仕方、一票獲得のための外見・好感力トレーニング、選挙におけるコンプライアンス、収支報告のポイント解説など、斯界第一人者による直伝。**講師**
(予定) 川上和久(明治学院大学副学長)
三浦博史(選挙プランナー／アスク株式会社代表取締役社長)
明石伸子(NPO 法人日本マナー・プロトコール協会理事・事務局長)
渡辺 強(選挙コンサルタント／PROJECT WITH 代表)
松田 馨(選挙プランナー／株式会社ダイアログ代表取締役) 他

時間割 (予定)	1日目	2日目
	13:00～13:30 受付	9:00～9:30 第3講
	13:45～14:30 オリエンテーション	9:50～11:20 第4講
	14:30～16:00 第1講	11:40～12:10 第5講
	16:20～17:50 第2講	12:10～13:00 昼食
	19:00～21:00 懇親会	13:10～14:40 第6講
		14:40～15:00 修了式

川上 和久 (明治学院大学副学長)

1957 年東京生まれ。東京大学大学院社会学研究科修了。政治心理学、戦略コミュニケーション(広報・広告・情報操作)論を専攻し、日経産業消費研究所非常勤研究員、千葉大学講師、東京大学講師、慶應義塾大学講師等歴任。1997 年より明治学院大学法学部教授。1998 年より(社)日本広報協会技術顧問

(2001 年より広報アドバイザーに名称変更)。

政治心理学の第一人者としてメディアへのコメント掲載多数。2010 年から TBS「N スタ」にコメンテーターとして出演。『NHK・民放の選挙報道を検証する』『数字で読む日本』『二大政党制は何をもたらすか』など著書多数。日本選挙学会会員。

三浦 博史 (選挙プランナー／アスク株式会社代表取締役社長)

1951年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、安田信託銀行に入社、その後、衆議院議員故椎名素夫(しいなもとお)代議士の公設秘書を務める。

1988年、米国国務省個人招聘プログラムにより米国の政治・選挙事情視察し、翌年、総合選挙プランニング会社「アスク株式会社」を設立。以来、日本初の「選挙プランナー」として、最近の知事選では松沢成文神

奈川県知事、上田清司埼玉県知事、伊藤祐一郎鹿児島県知事、泉田裕彦新潟県知事、仲井眞弘多沖縄県知事、石原慎太郎東京都知事、森田健作千葉県知事、湯崎英彦広島県知事をはじめ、数々の国政・首長選挙を手がける。著書に『最新選挙立候補マニュアル』『ネット選挙革命』などがある。日本選挙学会会員。

明石 伸子 (NPO法人日本マナー・プロトコール協会理事・事務局長)

青山学院大学経済学部卒業後、日本航空株式会社に客室乗務員として入社。アシスタントパーサーとして乗務後に退社し、大手派遣会社にて役員秘書を務める。その後、コンサルティング会社で企業イメージの策定や社員意識調査の設計・分析など、企業のCI(コーポレート・アイデンティティ)の策定や、企業役員を対象とした研修や異業種交流会の事務局などを経験。

2003年NPO法人日本マナー・プロトコール協会創設に参加、理事・事務局長としてマナー&プロトコールの普及・啓発と同時に、企業エグゼクティブや政治家向けに「外見・好感力トレーニング」も実施している。著書に『あなたを輝かせる大人のマナー』『セレブなお作法~和のしきたりと大人のマナー~』などがある。

渡辺 強 (選挙コンサルタント／PROJECT WITH代表)

1961年北海道生れ。駒澤大学法学部卒業。衆議院議員秘書を3年経て、選挙PRの老舗である株式会社ニチエンに入社。

1999年に独立し、PROJECT WITHを設立。約20数

年に渡り、選挙専門のPRコンサルタントとして多くの実績を持つ。2008年より時事通信社、内外情勢調査会講師。著書に『当確!選挙術』、ビデオ『当選!最強の鉄則 全14巻』などがある。

松田 馨 (選挙プランナー／株式会社ダイアログ代表取締役)

1980年広島県生まれ。京都精華大学人文学部卒業。デザイン会社、私立大学入試広報課勤務を経て、2006年の滋賀県知事選挙へ立候補した嘉田由紀子(現滋賀県知事)の選挙PR全般を担当。以後、地方議会議員選挙から国政選挙まで数多くの選挙に携わり、「日本最年少選挙プランナー」「無党派票を読むプロ」

としてマスコミにも多数取り上げられる。若者の投票率向上を目指し活動する学生団体「ivote」への協力や、日本初の選挙用iPhoneアプリ「MyVoteJapan」の企画など、投票率向上に向けての活動も続けている。著書に『選挙は誰のためにあるのか』(2010年12月出版予定)。日本選挙学会会員。